

| |
|-------------------|
| 最終更新日 H24.10.24 |
| 改修技術 No. 12202102 |

| | | | |
|------------------|---|---|--------------|
| 性能分野 | 環境・省エネルギー性能 | | |
| 大分類 | 日射遮蔽性の向上 | | |
| 中分類 | 開口部の日射遮蔽性の向上 / サッシの日射遮蔽性の向上 | | |
| 技術の名称 | 緑のカーテンの設置 | | |
| 改修技術の概要 | <p>【改修工事の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開口部の日射遮蔽が講じられていない場合、夏期および中間期において、建物室内の温度上昇をまねき快適性が損なわれるほか、冷房エネルギーの大幅な増加の要因となる。 サッシおよびガラスに遮蔽性能の高いものを使う技術や、屋根・霧除け庇・ルーバーなどを利用して開口部から侵入する日射をさえぎる技術などがある。 窓際の日射による輻射熱（温熱）の低減、冷房エネルギーの低減に効果がある。 緑のカーテンなど緑化による日射遮蔽も有効。 <p>【各工法の特徴】</p> <p>緑のカーテンの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 共用部を利用して、建物全体にワイヤーなど補助資材を設置し、つる性植物をからませる。また、ベランダなどに緑化ネットを設置し各住戸ごとに緑のカーテンを導入することも可能。冷房エネルギーの低減、光熱費の削減に効果がある。 植物の葉などにより日射をさえぎるとともに、植物の蒸散作用によるクーリング効果（冷風）を得ることもできる。 工法や植物によって施肥、除草、除虫、自動灌水装置点検、給排水設備点検等、定期的なメンテナンスが必要となる。 | | |
| | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>共用部に設置した例</p>  <p><出典：(株)リビタ HP></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ベランダに設置した例</p>  <p><出典：(株)リプラン></p> </div> </div> | | |
| 共同住宅のタイプごとの技術の適用 | 技術の種類 | 調査・診断技術 改修技術（ 劣化を補修する技術 性能を向上させる技術） | |
| | 共同住宅のタイプごとの適用可能性 | S55 年以前供給 中層階段室・壁式(総プロA1) | 使われる可能性が相当ある |
| | | S55 年以前供給 高層・ラーメン(総プロA2) | 使われる可能性が相当ある |
| | | S56～H2 年供給(総プロB) | 使われる可能性が相当ある |
| | | H3～12 年供給(総プロC) | 使われる可能性が相当ある |
| | | H13 年以降供給(総プロD) | 使われる可能性が相当ある |
| | (補足) | | |

| | | |
|----------------|-----------------|---|
| 常にセットで利用される技術 | | |
| 技術が適用される建物の部位 | | 共用部分 (躯体・外壁 屋根 建具 設備・配管等 その他共用部) 専有部分 (設備・配管 その他専用部分) 設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 () 注意すべき主な法令 () |
| 団地で適用した場合のメリット | | 住棟まわりの土地が利用できること(仮設以外)() まとまった土地が利用できること(仮設以外)() 住宅の数が多く密度が高い() 特定の設備があること() |
| 足場の設置が必要 | | 必要 不要 () |
| 工事による居住者への影響 | 数日以上居住できない住戸が発生 | 該当 非該当 (居ながら工事が可能) |
| | 一時的な影響が発生 | 断水などライフラインが一時的に利用不可 振動 騒音 粉塵 臭気 その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 () |
| | 工事後に続く影響が発生 | 専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限() 日照・採光等への影響(外壁、開口部への日射を遮る) |
| 当該技術が利用される工事 | | 計画修繕工事(劣化の補修 性能の向上) 耐震改修工事(耐震性の向上 他の性能の向上) |
| 技術的境界 | | |
| 参考資料 | 技術情報 | ・「壁面緑化ガイドライン」平成18年3月・東京都 |
| | 価格情報 | ・「壁面緑化ガイドライン」平成18年3月・東京都 |